

2023/11/13 岸まきこ活動報告

「絵に描いた餅」ではなく、「実のある果実」を求めていきます

「税収増の還元」と所信で表明した岸田首相は、10月末に所得税等の定額減税策を発表しました。しかし、当然のことながら過去の税収増額分は既に支出済で、原資となる財源は存在しません。借金である国債の発行額増による影響、減税分の地方財政の穴埋めが課題となります。

また政府は、定額減税と低所得者支援との谷間に置かれる世帯への「丁寧な支援」を掲げていますが、対象世帯をどのように把握し、どのような手立てを講じるのか。具体を問えば、これから年末にかけての議論を待つとの回答。私たちはまさに絵に描いた餅を提示されたにすぎません。

そして、これら経済対策の実務を担うのは自治体との報道がされています。だとすれば、減収分の地方財政確立のみではなく、そもそもの制度設計が自治体の過度な負担を招くことがないように、注視していくことが重要です。

インフレ対策を生活者に寄りそった実のある政策とし、実務を担う自治体が対応可能な制度設計となるよう、仲間の議員とともに実現をめざしていきます。